

## 【水彩画クラブ27】卒業後7年目の活動 2019年6、7月

### ◇第142回活動:2019年6月24日(月) 午後1時から ヌエック 207室

前回まで習作してきた課題『公園の葉の花』、自宅で各自仕上げてきた作品を白板上に貼り出して、内ちゃん先生の画評を頂いた。

一段と難しい課題でしたが、一生懸命仕上げてきた自作品、それぞれ先生の好評を頂いた。

今日から新しい課題写真『日高・高麗川の清流』を習作していく。

#### 1. 対岸の崖上に生える木々(左側2マス目から右へ)を描いていく。

##### ① 木々の幹前に見える葉っぱに色を塗っていく。

(1) 水溶きしておいた緑色を小筆に取り、課題写真を見ながら小さな葉っぱを描いていく。

(2) 塗った絵の具をドライヤーで乾かしてから、マスキングペンでチョンチョンと描くようにマスキングしていく。

(3) マスキングインクをドライヤーで乾かしてから、夫々の木々を描いていく。

木々の陽が射して白っぽく見えるところは成るべく色を塗らない。

影側のところは、焦げ茶色や茶褐色の水彩色鉛筆で影を描いていき、直ぐに水筆でなぞるように塗っていく。

(4) ドライヤーで十分に乾かしてから、木々の間に見える黄色や緑の葉っぱ群に、穂先をマスキングインクで固めてから3、4本に小分けした小筆で、ランダムにチョンチョンとおくようにマスキングしていく。

② ドライヤーで乾かしてから、ドライブラシ技法で緑色や黄色で塗っていき、直ぐに水筆でぼかしていく。

(1) ドライヤーで乾かしてから小分けしたマスキング筆を使い、チョンチョンと前項(4)のようにランダムにおくようにマスキングしていく。

(2) ドライヤーで乾かしてから、少し濃い目の緑色から黄色をドライブラシ技法で塗っていき、直ぐに水筆でぼかしていく。

③ ドライヤーで十分に乾かしてから、鮮青色に暗青色を少し混ぜてから、木灰色を少量混ぜた濃い目の緑色をつくり、その色を小筆に取り、課題写真を見ながら濃い目に見える影のような箇所塗っていき、直ぐに水筆でぼかしていく。

※ 今日の活動はここまでで終わった。

#### 2. 次回(7月8日(月))の活動予定 研修棟 207号室

宿題 ① 崖上の木々を左1マス目から今日同じ要領で仕上げてくる。

② 左側の崖面に見える、太目の蔦周辺や崖に見える葉っぱを描いてから、マスキングを施していく。

### ◇第143回活動:2019年7月8日(月) 午後1時から ヌエック 207室

昨日7日の午後3時頃、突然ヌエックの受付担当から電話があった。内容は「明日8日午前中から研修棟前で、ドラマの撮影があるので、駐車場が使えません。本館駐車場か坂下のテニスコート駐車場を利用して下さい」とのこと。

直ぐに会員全員にEメールで発進した。

8日当日、研修棟行動前の通路にドラマ撮影の為か屋台店の設営をやっていた。ドラマ撮影は明日からとか。

課題写真『日高・高麗川の清流』の1回目活動で描いてきた最上部の木々。途中で終わったので、左端の木や蔓と葉っぱを描いてから、崖などに生えている葉っぱを描き、乾かしてからマスキングを施してきた。

3回目活動の今日は、正面の崖を描いていく。

#### 1. 正面の白っぽい崖を描いていく。

① 正面崖の岩肌に見える岩と岩の間を黒色の水彩色鉛筆で、課題写真を見ながら描いていく。

② 白く見える岩肌をマスキングインクで塗るようにマスキングしていく。

③ 白っぽい岩の左側面の岩肌を、課題写真を見ながら岩の形に塗っていく。

青っぽい岩・・・暗青色に黒っぽい紫色を少し混ぜる。

赤っぽい岩・・・オレンジ色に黄土色を少し混ぜる。

④ 前項①で岩と岩の切れ目を水彩色鉛筆で描いた黒線を、水筆でなぞるように馴染ませていく。更に黒が濃い岩肌や境目を、黒っぽい紫色を小筆に取り課題写真を見ながら描いていく。

2. 左端に見える岩など、課題写真を見ながら前項③の青っぽい色や黄土色、黒っぽい紫色などで描いていく。

3. 白っぽい崖左側の暗い中にみえる赤茶けた葉っぱを描いていく。

① 白っぽく見えている葉っぱにマスキングを施していく。

② マスキングインクをドライヤーで乾かしてから、オレンジ色に少し黄土色を混ぜてつくった色で、課題写真を見ながら赤茶けた葉っぱをドライブラシ技法で擦りながら描いていき、直ぐに水筆で周囲をぼかしていく。

③ 塗った色をドライヤーで乾かしてから、課題写真を見ながらマスキングペンで葉っぱの形にマスキングしていく。

(直ぐにドライヤーでかわかしておく)

④ 暗い影を描いていく。

(1) 影色をつくる

赤茶けた影色・・・オレンジ色に影色(暗青色と焦げ茶色の混色)を混ぜてつくる。

黒っぽい影色・・・暗青色に黒っぽい紫色を少し混ぜる。

(2) 課題写真を見ながら、水面から上方に少し水溶きした黒っぽい影色で塗っていく。

左側の岩などに見える影にも同じ影色で塗っておく。

(3) 中程から上の方は、少し水溶きした赤茶けた色で塗っていく。

※ 今日の活動はここまでで終わった。

中央の白っぽい崖から左方への崖を自宅で仕上げてくる。

4. 次回(7月22日(月))の活動予定 本館・試食室

次回は水面を描いていくので、水面の崖際にマスキングを施してくる。

◇第144回活動:2019年7月22日(月) 午後1時から 又エック本館 試食室

活動が始まる前に、佐久間さんから「8月12日の活動終了後に、「暑気払い」をやりましょう！」と提案された。東松山市内の「庄や」を予定し、出席者の決を採った。内ちゃん先生を入れて出席が8名、都合悪い人が3名だった。

課題写真『日高・高麗川の清流』の2回目活動で描いてきた中央左側の白い崖と、その左側の黒っぽい崖奥を描いてきた。

次回活動では高麗川を描いていくので、白い崖から右側の崖を描いてから、崖の水際に線を引くようにマスキングしてきた。

最終回の今日は、高麗川の清流を描いて仕上げていく。

1. 右側下方の角に見える河岸を描いていく。

① 河岸に見える赤っぽい石と、青っぽい石を塗っていく。

② 小石の色をつくる。

a) 赤っぽい色 赤色に少し黄土色を混ぜて、少し鈍い赤色をつくる。

b) 青っぽい色 暗青色に焦げ茶色を少し混ぜて、少し暗めの青色をつくる。

③ 小筆に前項でつくった赤っぽい色を取り、課題写真を見ながら赤い石に塗っていく。

同じように、課題写真を見ながら青い石に塗っていく。

④ 塗った色を乾かしてから、塗ってきた石にマスキングを施していく。

⑤ マスキングしたインクを乾かしてから、課題写真を見ながら白く見える大小の石にマスキングしていく。

⑥ マスキングインクを乾かしてから、3～4本に筆先を枝分かれさせた小筆で課題写真を見ながら白く見える小砂利にチョンチョンと付けてマスキングしていく。

⑦ マスキングインクを乾かしてから、暗青色に少し焦げ茶色を混ぜてつくった青い影色を小筆に取り、課題写真を見ながら石や小石、玉砂利等の下側に見える影を描いていき、直ぐに水筆でぼかしていく。

濃く見える部分には青い水彩色鉛筆で影を描き、水筆で馴染ませていく。

塗ってきた色を乾かしてから、川との際部分にマスキングを施していき、直ぐにドライヤーで乾かしておく。

2. 右側河岸から中央の方に映っている、黄色に橙色などが見える筋上の影に色を塗っていく。

① 白っぽく見える影にマスキングを施していく。

a) 白っぽく見える影部分に中筆で水を塗っていき、直ぐにティッシュの下方で降りながら余分の水を取っていく。

b) 課題写真を見ながら、白っぽく見えている影部分に、マスキングペンでサーッと描くようにマスキングしていく。

c) マスキングインクを乾かしてから、課題写真を見ながら黄色く見える影に水溶きした黄色を小筆に取り、黄色い影を描いていく。直ぐに水筆でぼかしていく。赤っぽく見える影に赤っぽい色を小筆に取り、少し水を付けてから課題写真を見ながら赤っぽい部分に塗っていく。直ぐに水筆で周囲をぼかしていく。

② 塗ってきた色を乾かしてから、映っている影全体にマスキングを施していく。直ぐにドライヤーで乾かしておく。

3. 対岸崖の水際に映っている草や葉っぱの緑色、崖の茶色や黒っぽい青色などを描いていく。

① 予め水溶きしている緑色や焦げ茶色、黒っぽい青色等を小筆に取り、描いていく部分に水を塗ってから筆を崖際から下へ筆を動かして夫々の色を塗っていく。

② 塗ってきた色を乾かしてから、映っている影全体にマスキングを施していく。直ぐにドライヤーで乾かしておく。

③ 右側に映って見える赤茶っぽい影の形に水を塗っていき、ティッシュ先端でサーッと拭いてから、赤っぽい色(橙色に黄土色を少し混ぜる)を小筆に取り、課題写真を見ながらその形に描いていく。

直ぐに水筆で周囲をぼかしていく。塗ってきた色を乾かしてからその部分に水を塗り、ティッシュ先端で余分な水を取ってからマスキングを施していく。

4. 川の右側から中央部に映っている白っぽい影にマスキングを施していく。

- ① 白く見えているそれぞれの影に、形を見ながら先に水を塗っていく。直ぐにティッシュをぶら下げて先端を触れさせて余分な水を取っていく。
  - ② 課題写真を見ながら、夫々の影を意識してタテやヨコにマスキングペンを動かしてマスキングしていく。
5. 高麗川の水面を描いていく。
- ① 水面に映る様々な色を水溶きする。  
黒っぽい青色、焦げ茶系青色、緑色、少し紫色などを混ぜた緑色
  - ② 高麗川の水面にハケで水のある程度多目に塗ってから、中筆か大筆に黒っぽい青色を含ませ、左側の黒っぽい崖下の水面に上から下方に塗っていく。  
同じように、課題写真を見ながら水面に映っているところに夫々の緑色や焦げ茶系青色を中筆などに含ませて、場所や形を見ながら塗っていく。
  - ③ 画板を持ち、左右や上下に傾けながら絵の具を周囲に流して滲ませていく。
  - ④ 金網に夫々の色を筆で塗りつけ、流れて薄くなっているところや、交じり合っているところに指で弾いて垂らしてから画板を持って左右上下に傾向けて周囲に滲ませていく。
- ※ 仕上げ途中で活動が終了した。各自自宅で頑張って仕上げてください。9月9日(月)の活動日に各自仕上げた自作品を持って来るようにとの指示があった。
6. 次回(8月12日(月))の活動内容          スエック研修棟 207号室
- 次回は午前と午後一日活動で、現在まで教わってきた”水彩画技法”を復習していく。
- ① 準備してくる
    - 用紙    F8の水彩紙を半分にカットして2枚用意
    - 絵の具    パレット
    - マスキングインク    マスキングペン
    - 水筆    水入れ
    - セロテープか紙テープ    F4サイズ位の板
  - ② 9月9日(月)の活動から「自分の風景」を描いていくので、各自自分の風景写真を用意してくること。